

世界で一つだけの コイのぼり

4月16日、総合市民会館で開催された『手描き鯉こいのぼり作り教室』。20人の幼児・小学生が、大竹和紙でできた60cmの型紙を思い思いのデザインに仕上げます。鯉のぼりの柄を忠実に描いたり、好きなキャラクターなどを描いたりし、それぞれの個性あふれる自分だけの鯉のぼりが出来上がりました。

参加した藤野翔くん(小4)、山内海人くん(小3)は、大竹パッファローズ所属のチームメイト。翔くんは、2年生の時に参加して面白さを知り、今回は2度目。「中学生になってもっと大きいサイズに描きたい」と絵筆を走らせ、所属チームのロゴマーク入り鯉のぼりを完成させました。

写真左は講師の杉本 海さん(ひろしま鯉のぼり)

